

「教員に必要なのは、見えないものを観る眼、聞こえない声を聴く耳」「子供が字を覚えるのは、鉛筆ではなく、消しゴムを使う時である」「夢は叶うと現実となって立ち上がる」「子供は、あなたから教えられたことは一生覚えているとは限りません。ですが、あなたから扱われたことは一生忘れません」「微力だけど、無力じゃない」「いのちとは心が感じるものだからいつでも会えるあなたに会える」出逢った言葉

指導主事 市川 人士

“還暦からの...”
退職後、期せずして事務所のお世話になり、現場の先生方の粉骨砕身の奮闘に刺激を受けつつ、還暦からの〇〇を發揮すべく老体に鞭打ち踏ん張って参りました。
BUT、お役に立てたかどうか自問自答... 恥じ入りながらも、〈和顔愛語〉〈鬼手仏心〉の境地で、これからの宮城の教育を支えていく皆様方が遊び心を忘れずご活躍されることを、いぎなり・願っております。
謝謝!!

指導主事 小野寺俊幸

「学び支援教室充実事業」の立ち上げから3年。実践校の先生方と共に、不登校傾向や教室で過ごすことに困難を抱える児童生徒が安心して過ごせる“校内の居場所づくり”に取り組んでまいりました。

3年間の実践を通して、支援のポイントが明確になりました。
①児童生徒に孤独感や不安感を味わわせない。②「来てよかった、また来よう」と感じられる活動や学習の工夫。③在籍学級や学年と学び支援教室との繋がりです。利用児童生徒たちからは「この教室があっただけよかった」という声が届いています。

今後も共に児童生徒の心に寄り添った支援をしていきたいと思います。
学び支援教室コーディネーター 中瀬 浩子

一年間お世話になりました!!

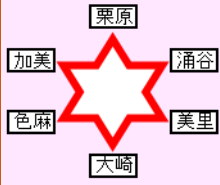


素顔のまま

指導班だよ！全員集合

かけはし

管内6市町の幼・小・中・義務教育学校と北部教育事務所をつなぐ架け橋を目指します。



宮城県北部教育事務所 指導班だより 令和5年3月10日(金)第6号

最近の若い人たち

所長 齋藤 卓也

「最近の若い人たちはさあ...。」と、たくさんご指導いただいた頃から30数年、その先輩方と同じくらいの年齢になりました。立場上、研修会等で「最近の若い人たち」に接する機会がありますが、総じて立派です。特に、中堅研(10年経過者)の先生方は意欲と使命感に溢れていて、学校を支えるという意識の高さに驚かされます。今、教職員の年齢構成は、砂時計のような形になっており、中堅研前後の先生方はその細い部分にあたるため、初任の頃から「いずれあなたたちが学校を支えなければならぬ」ということを繰り返して言われてきたことも、少なからず影響があるように感じます。なんだかんだ言われながらも、担任としてたっぷり子供たちと関わることができたことを思い起こすと、最近の若い人たちに対して申し訳なさを感じます。

私たちは砂時計の上の部分に位置し、全体を俯瞰して、バランスを取りながら細い部分を支え、全体を安定させるような役割が求められます。定年延長も決まり60歳がゴールではなく、新人類と呼ばれた世代にふさわしい未知の世界が待っています。若い人たちが教師の喜びや楽しみを十分に味わいながら活躍できるように、「学校を支える若い人たちを支えるベテラン教師」の新しいイメージを作り上げていきたいと思います。

一冊の絵本から

副参事・班長 千坂 佳織

詩人谷川俊太郎さんの絵本「へいわとせんそう」を読みました。白黒のシンプルな絵と最小限の言葉が並んでいます。少ない言葉だからこそ読み手のイメージや連想が膨らんでいきます。この絵本が私に強く訴えてきたのは後半の「味方と敵」を並べる表現。「味方の顔」も「敵の顔も」、「味方の(迎える)朝」も「敵の(迎える)朝」も、「味方の赤ちゃん」も「敵の赤ちゃん」も見分けがつかない。全然変わらないのです。世界の空はつながっていて、同じように朝を迎え、一人の人間として存在している。

学校は、学びの前提となる安全・安心の確保が強く求められています。子供たちは安全・安心が満たされて初めて、学ぶ意欲が湧いてきます。自分の「好き」に挑める場が子供たちには必要なのです。一人でも多くの子供たちに、内在する可能性やその根本にある好奇心に火をつけたいものです。絵本「へいわとせんそう」。子供たちは、何を思うだろう。是非、子供たちに紹介したい一冊です。